

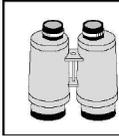
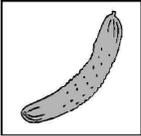
全部終わったら小1へ!

年中・年長児のための総合知能開発ワーク

「ぐんぐん」

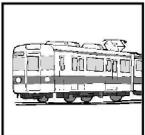
6号

ことばにあうえをせんでおすびましょう。

き や	き やく せん	き ゆう り	き ゆう き ゆう し ゃ	ぼ う えん き よ う	そ う が ん き よ う
き ゆ	●	●	●	●	●
き よ					

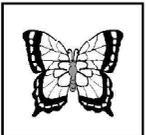
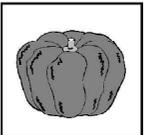
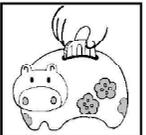
<h><h> 6-1 なまえ ()

ことばにあうえをせんでおすびましょう。

し や	し ゃ し ん	で ん し ゃ	う ん て ん し ゆ	し よ う ゆ	し よ う ぼ う し ゃ
し ゆ	●	●	●	●	●
し よ					

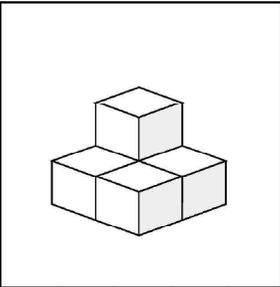
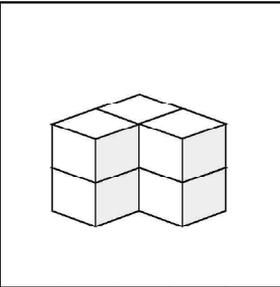
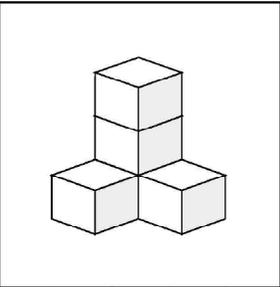
<h><h> 6-2 なまえ ()

ことばにあうえをせんでおすびましょう。

ち ゃ	ち ゃ わ ん	か ぼ ち ゃ	ち ゆう し ゃ	ち よ う	ち よ き ん ば こ
ち ゆ	●	●	●	●	●
ち よ					

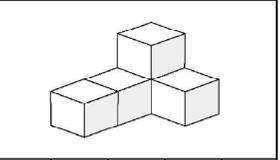
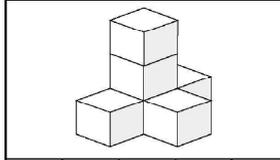
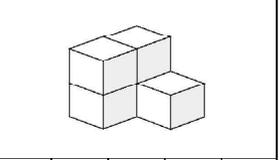
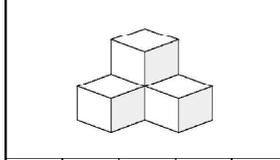
<h><h> 6-3 なまえ ()

積みきは いくつ ありますか。 そのかずの すうじに ○を つけましょう。

(1)	(2)	(3)																														
																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5																												
6	7	8	9	10																												
1	2	3	4	5																												
6	7	8	9	10																												
1	2	3	4	5																												
6	7	8	9	10																												

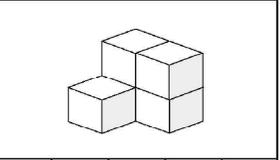
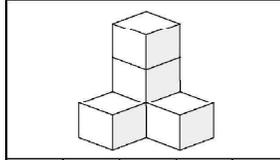
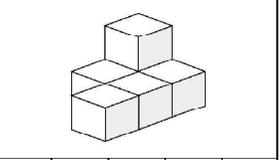
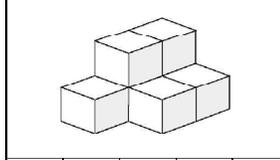
<h><h> 6-4 なまえ ()

積みきは いくつ ありますか。 そのかずの すうじに ○を つけましょう。

(1)	(3)																				
																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5																	
6	7	8	9	10																	
1	2	3	4	5																	
6	7	8	9	10																	
(2)	(4)																				
																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5																	
6	7	8	9	10																	
1	2	3	4	5																	
6	7	8	9	10																	

<h><h> 6-5 なまえ ()

積みきは いくつ ありますか。 そのかずの すうじに ○を つけましょう。

(1)	(3)																				
																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5																	
6	7	8	9	10																	
1	2	3	4	5																	
6	7	8	9	10																	
(2)	(4)																				
																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5																	
6	7	8	9	10																	
1	2	3	4	5																	
6	7	8	9	10																	

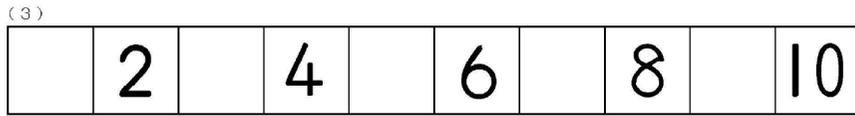
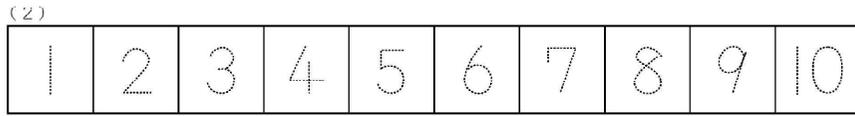
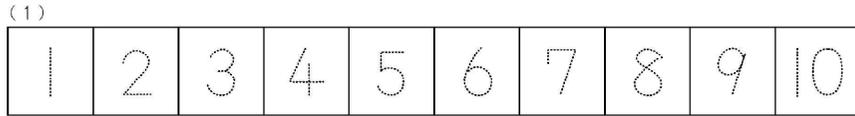
<h><h> 6-6 なまえ ()

すうじを なぞりましょう。

1	1	1	1	1	6	6	6	6	6
2	2	2	2	2	7	7	7	7	7
3	3	3	3	3	8	8	8	8	8
4	4	4	4	4	9	9	9	9	9
5	5	5	5	5	10	10	10	10	10

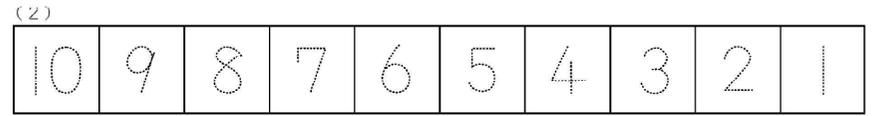
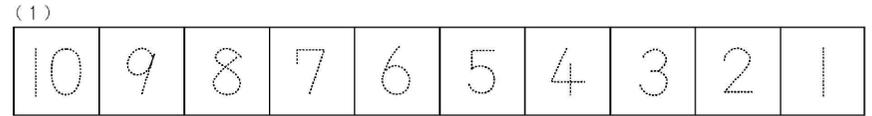
<h><h> 6-7 なまえ ()

……を なぞりましょう。 □に あう すうじを かきいれましょう。



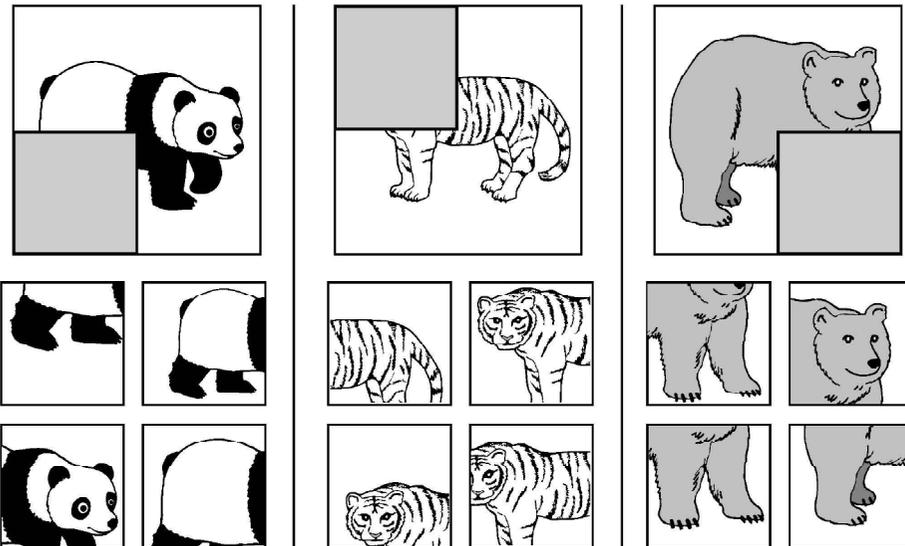
<h><h> 6-8 なまえ ()

……を なぞりましょう。 □に あう すうじを かきいれましょう。



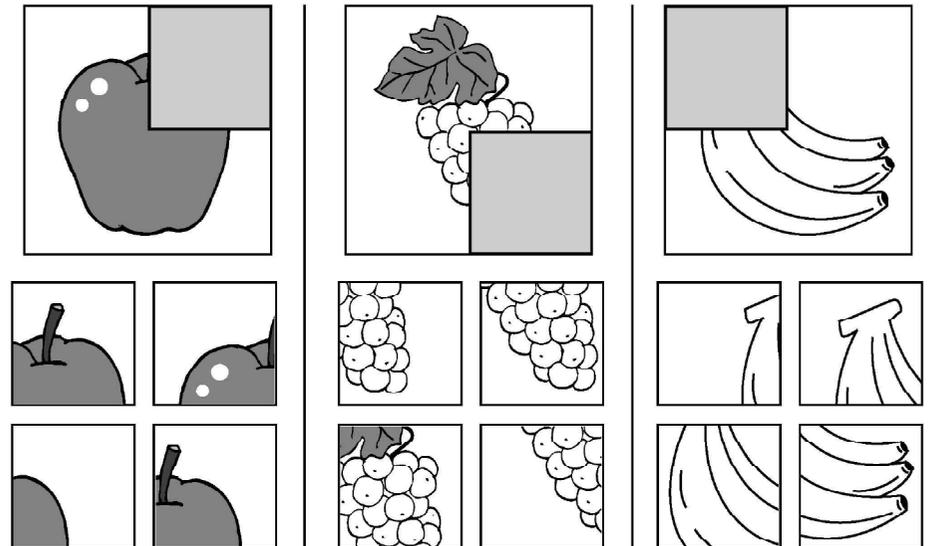
<h><h> 6-9 なまえ ()

あいている ところにあう えに ○をつけましょう。



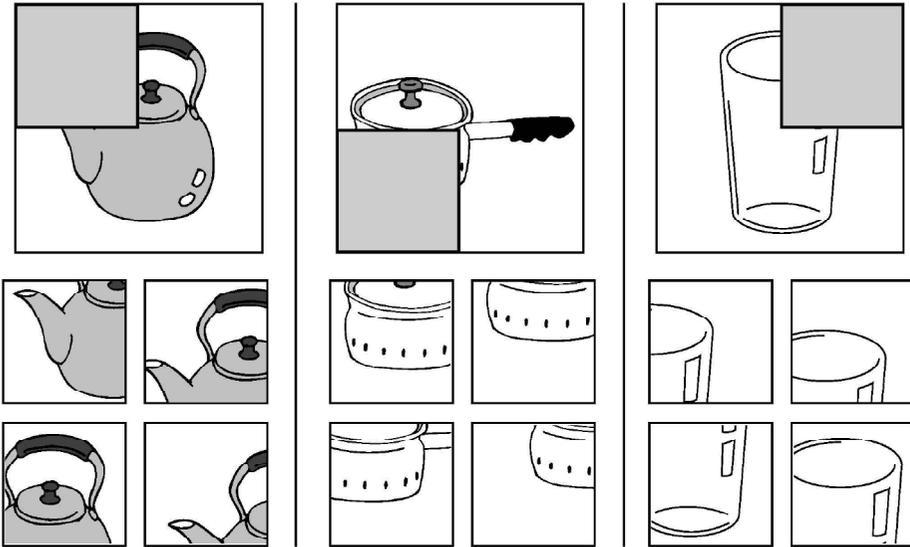
<h><h> 6-10 なまえ ()

あいている ところにあう えに ○をつけましょう。



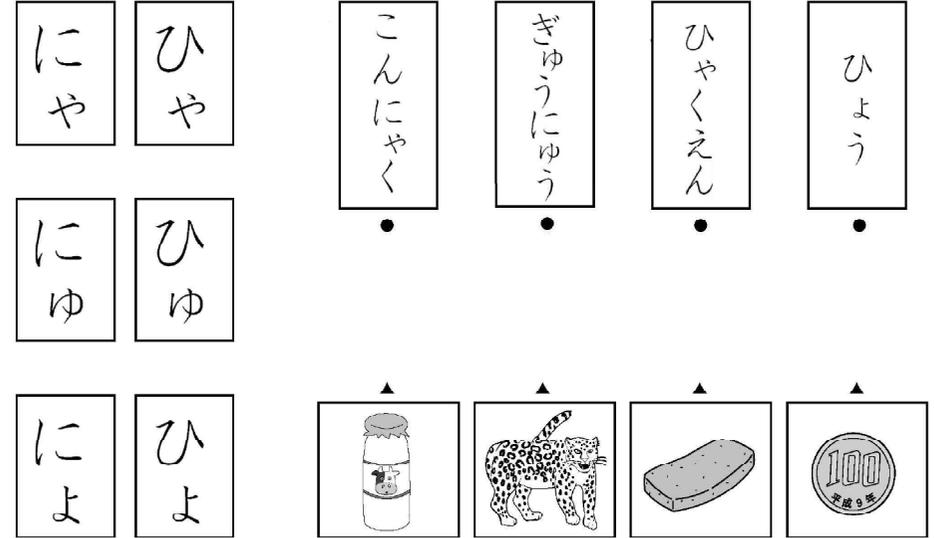
<h><h> 6-11 なまえ ()

あいているところに あう えに ○をつけましょう。



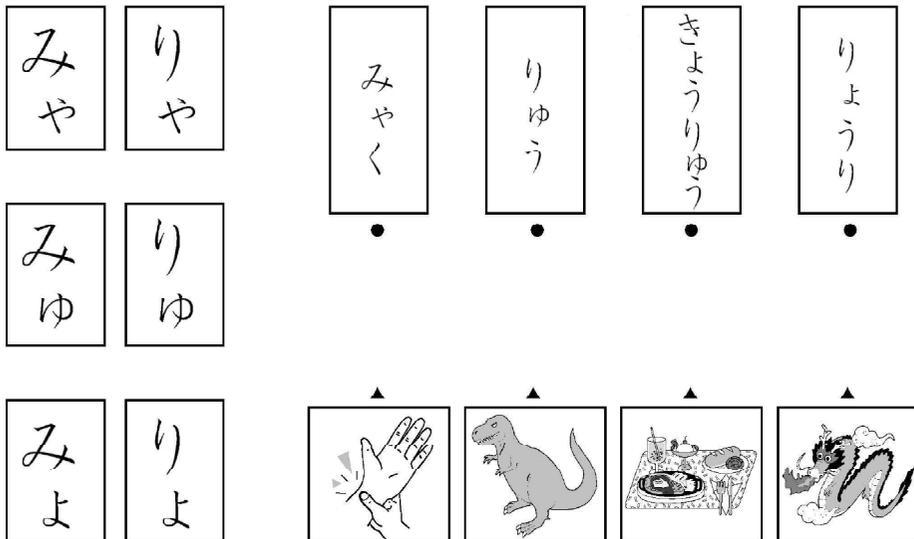
<h><h> 6-12 なまえ ()

ことばにあう えを せんで おすびましょう。



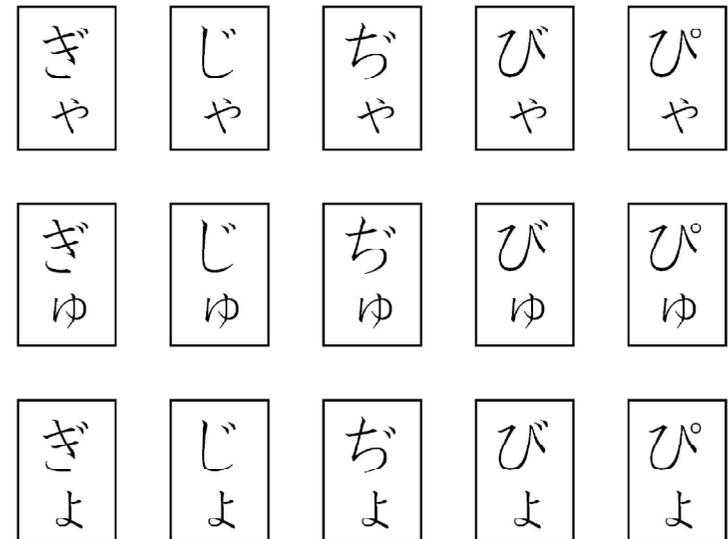
<h><h> 6-13 なまえ ()

ことばにあう えを せんで おすびましょう。



<h><h> 6-14 なまえ ()

ひだりから じゅんばんに こえを だして よみましょう。



<h><h> 6-15 なまえ ()

つみきは いくつ ありますか。 そのかずの すうじに ○を つけましょう。

(1)				
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

(3)				
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

(5)				
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

(2)				
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

(4)				
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

(6)				
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

<h><h> 6-16 なまえ ()

あわせると いくつに なるでしょう。 () に すうじで かきましょう。

		()
--	--	-----

		()
--	--	-----

		()
--	--	-----

		()
--	--	-----

		()
--	--	-----

		()
--	--	-----

<h><h> 6-17 なまえ ()

あわせると いくつに なるでしょう。 () に すうじで かきましょう。

		()
--	--	-----

		()
--	--	-----

		()
--	--	-----

		()
--	--	-----

		()
--	--	-----

		()
--	--	-----

<h><h> 6-18 なまえ ()

……を なぞって もじを かきましょう。

--	--

--	--

--	--

--	--

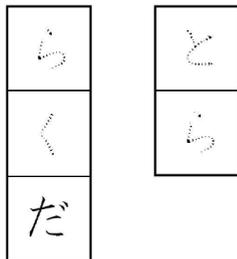
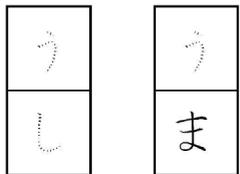
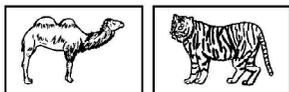
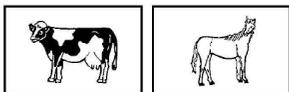
る
ば

さ
る

か
え
る

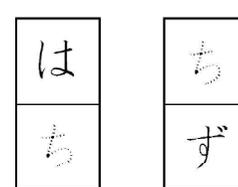
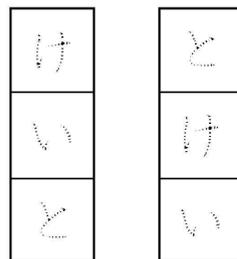
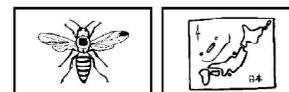
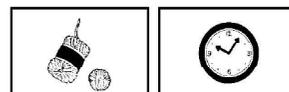
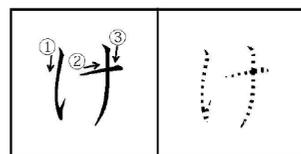
<h><h> 6-19 なまえ ()

……を なぞって もじを かきましょう。



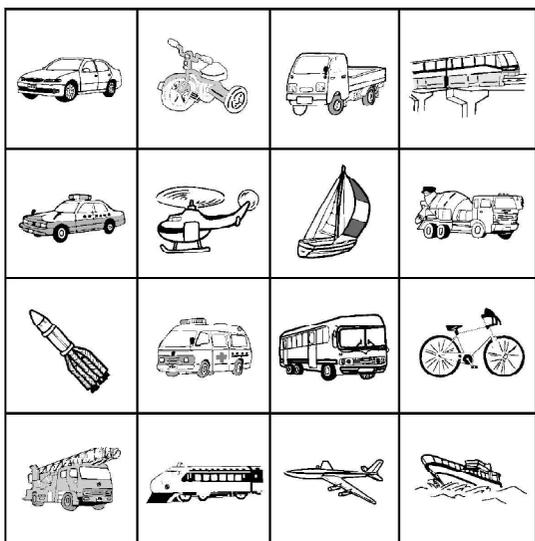
<h><h> 6-20 なまえ ()

……を なぞって もじを かきましょう。



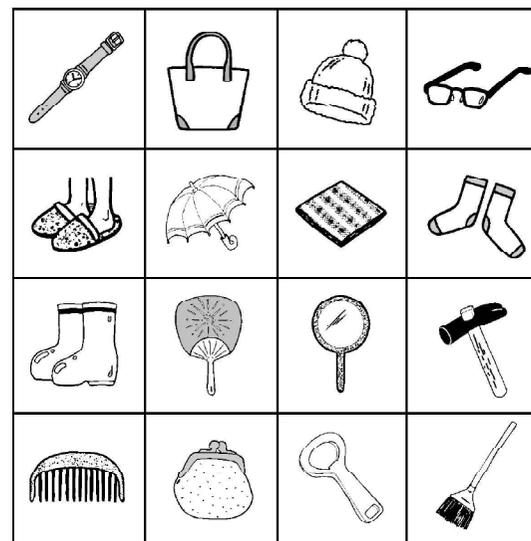
<h><h> 6-21 なまえ ()

うえから 3だんめで ひだりから 3ばんめに あるのは なにでしょう。



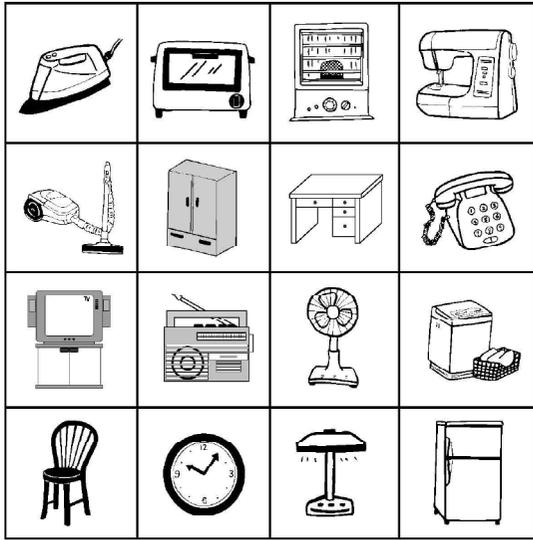
<h><h> 6-22 なまえ ()

したから 3だんめで みぎから 3ばんめに あるのは なにでしょう。



<h><h> 6-23 なまえ ()

したから 2だんめで みぎから 4ばんめに あるのは なにでしょう。



<h><h> 6-24 なまえ ()

こえを だして よみましょう。

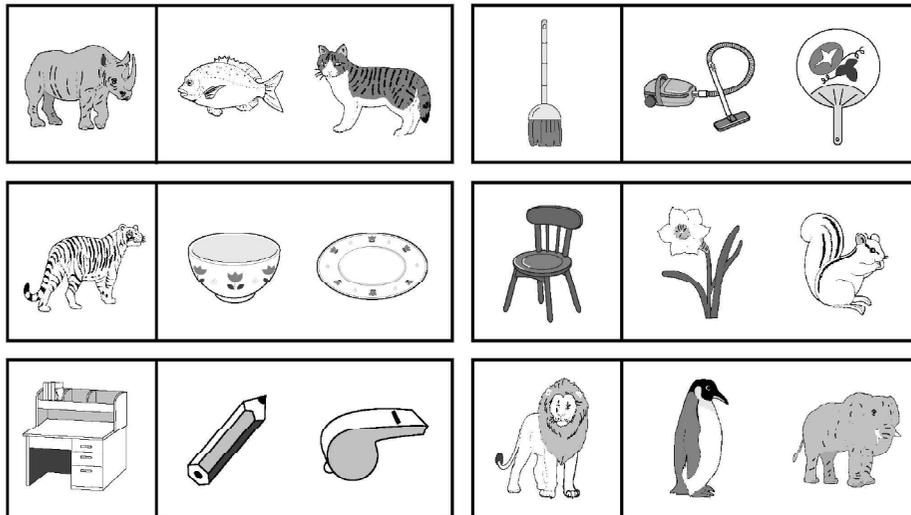
り や	み や	ひ や	に や	ち や	し や	き や
り ゆ	み ゆ	ひ ゆ	に ゆ	ち ゆ	し ゆ	き ゆ
り よ	み よ	ひ よ	に よ	ち よ	し よ	き よ

ぱ	ば	だ	ざ	が
び	び	ぢ	じ	ぎ
ぶ	ぶ	づ	ず	ぐ
ぺ	べ	で	ぜ	げ
ぽ	ぼ	ど	ぞ	ご

ぴ や	び や	ぢ や	じ や	ぎ や
ぴ ゆ	び ゆ	ぢ ゆ	じ ゆ	ぎ ゆ
ぴ よ	び よ	ぢ よ	じ よ	ぎ よ

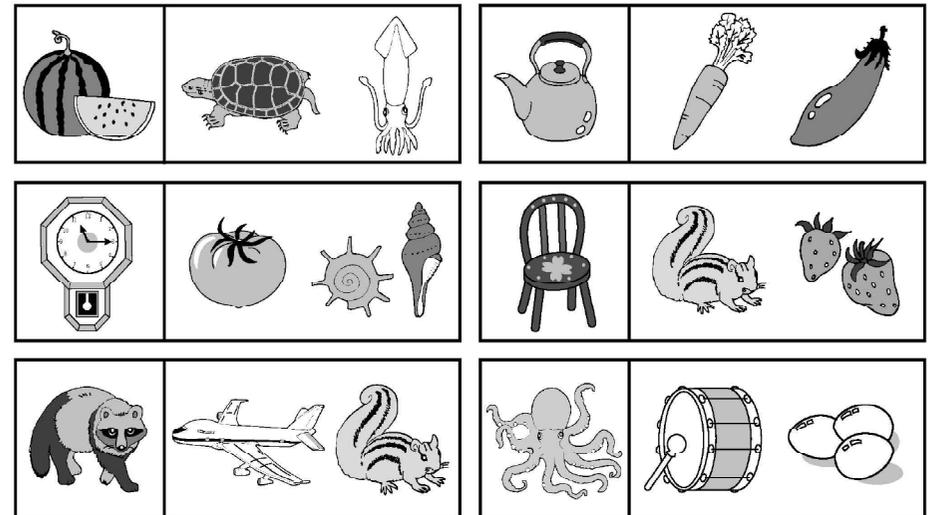
<h><h> 6-25 なまえ ()

ひだりの えと おなじ おとで おわる えに ○をつけましょう。



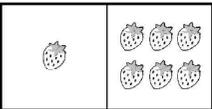
<h><h> 6-26 なまえ ()

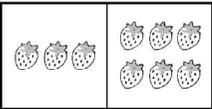
ひだりの えと おなじ おとで おわる えに ○をつけましょう。

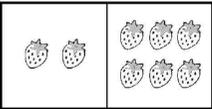


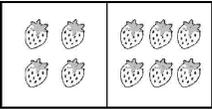
<h><h> 6-27 なまえ ()

あわせて いくつですか。 そのかずだけ □に ○をかき ()に すうじを かきましょう。

(1)   ()

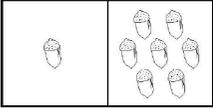
(2)   ()

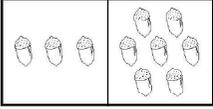
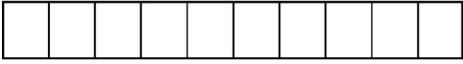
(3)   ()

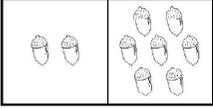
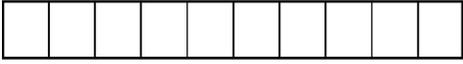
(4)   ()

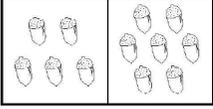
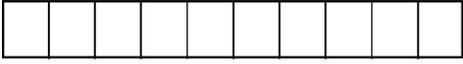
<h><h> 6-28 なまえ ()

あわせて いくつですか。 そのかずだけ □に ○をかき ()に すうじを かきましょう。

(1)   ()

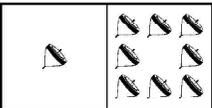
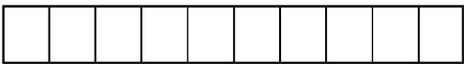
(2)   ()

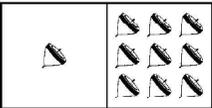
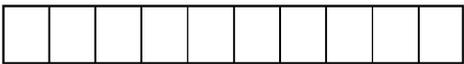
(3)   ()

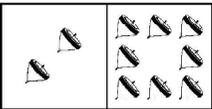
(4)   ()

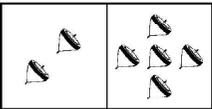
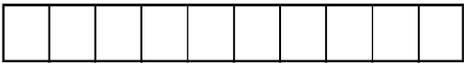
<h><h> 6-29 なまえ ()

あわせて いくつですか。 そのかずだけ □に ○をかき ()に すうじを かきましょう。

(1)   ()

(2)   ()

(3)   ()

(4)   ()

<h><h> 6-30 なまえ ()

……を なぞりましょう。 □に あう すうじを かきいれましょう。

(1)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

(2)

11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(3)

11		13		15		17		19	
----	--	----	--	----	--	----	--	----	--

(4)

20		18		16		14		12	
----	--	----	--	----	--	----	--	----	--

<h><h> 6-31 なまえ ()

……を なぞりましょう。 □に あう すうじを かきいれましょう。

(1)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(2)

11		13		15		17		19	
----	--	----	--	----	--	----	--	----	--

(3)

20		18		16		14		12	
----	--	----	--	----	--	----	--	----	--

<h><h> 6-32 なまえ ()

……を なぞりましょう。 □に あう すうじを かきいれましょう。

(1)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(2)

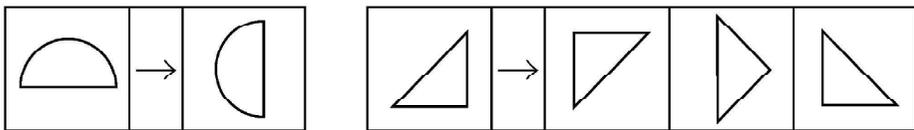
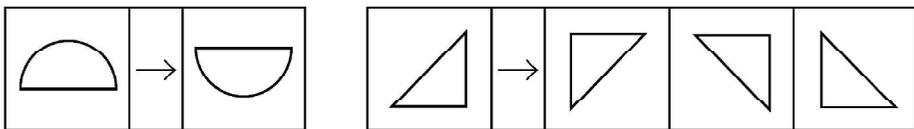
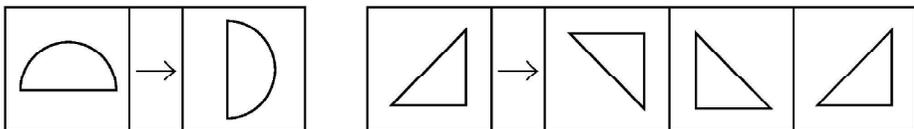
11				15					20
----	--	--	--	----	--	--	--	--	----

(3)

20					15				11
----	--	--	--	--	----	--	--	--	----

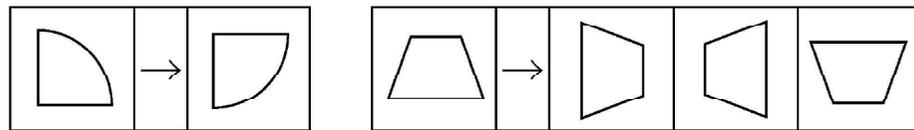
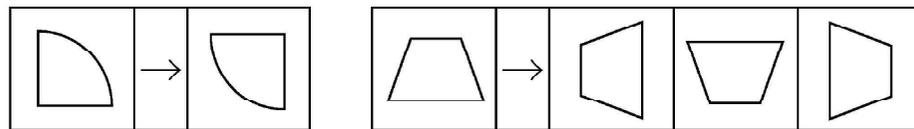
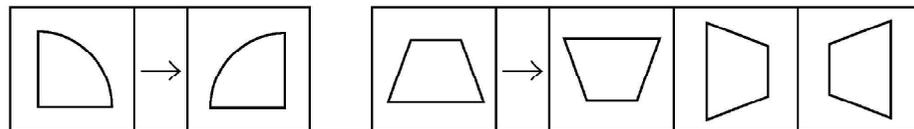
<h><h> 6-33 なまえ ()

ひだりとおなじようにまわすと、みぎのえはどれになりますか。



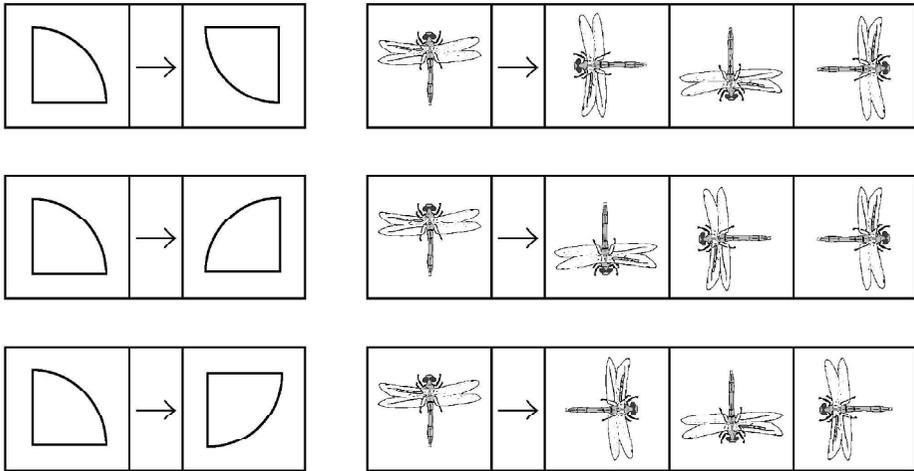
<h><h> 6-34 なまえ ()

ひだりとおなじようにまわすと、みぎのえはどれになりますか。



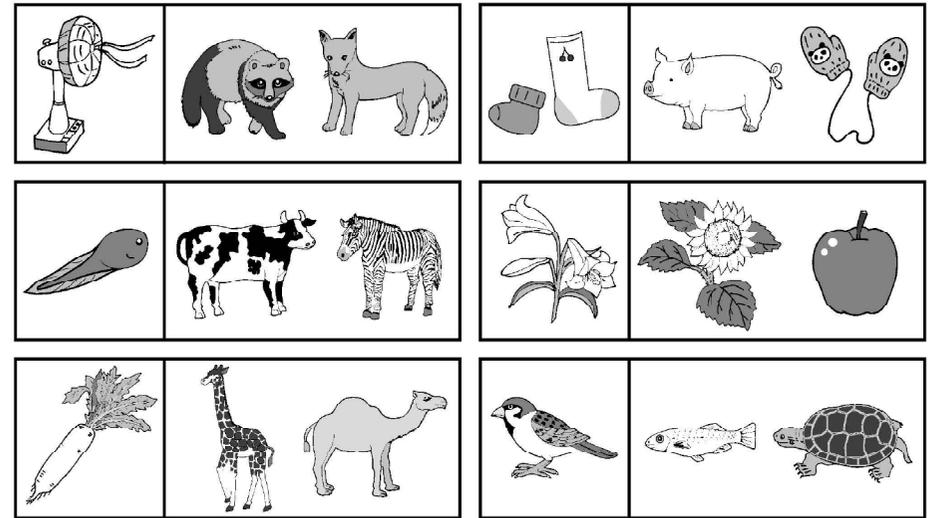
<h><h> 6-35 なまえ ()

ひだりとおなじようにまわすと、みぎのえはどれになりますか。



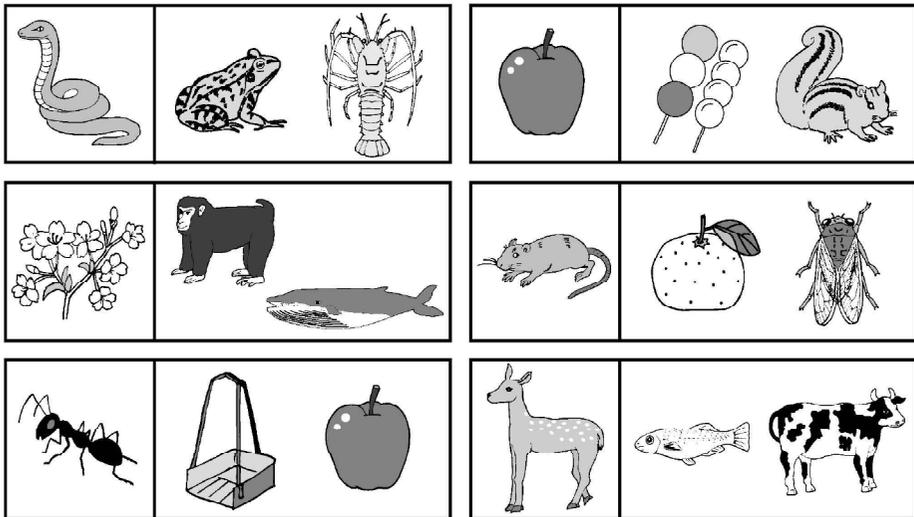
<h><h> 6-36 なまえ ()

ひだりのえとおなじおとでおわるえに○をつけましょう。



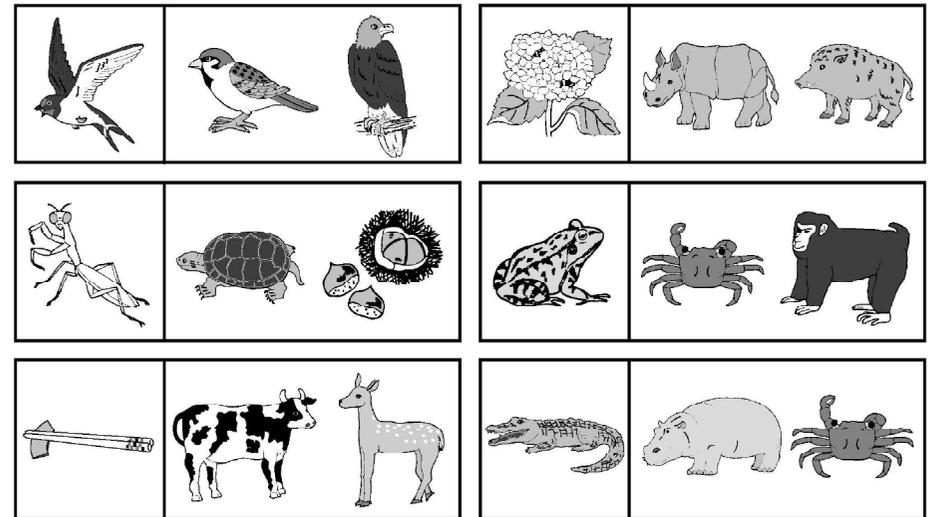
<h><h> 6-37 なまえ ()

ひだりのえとおなじおとでおわるえに○をつけましょう。



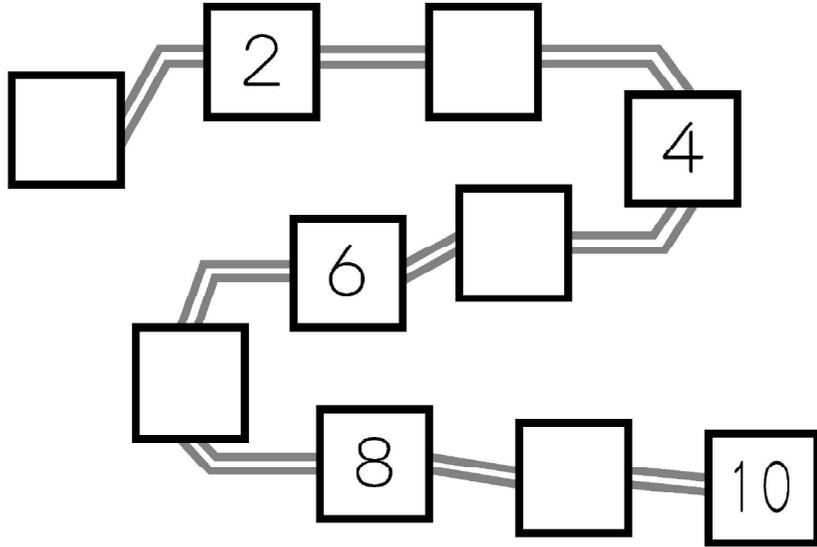
<h><h> 6-38 なまえ ()

ひだりのえとおなじおとでおわるえに○をつけましょう。



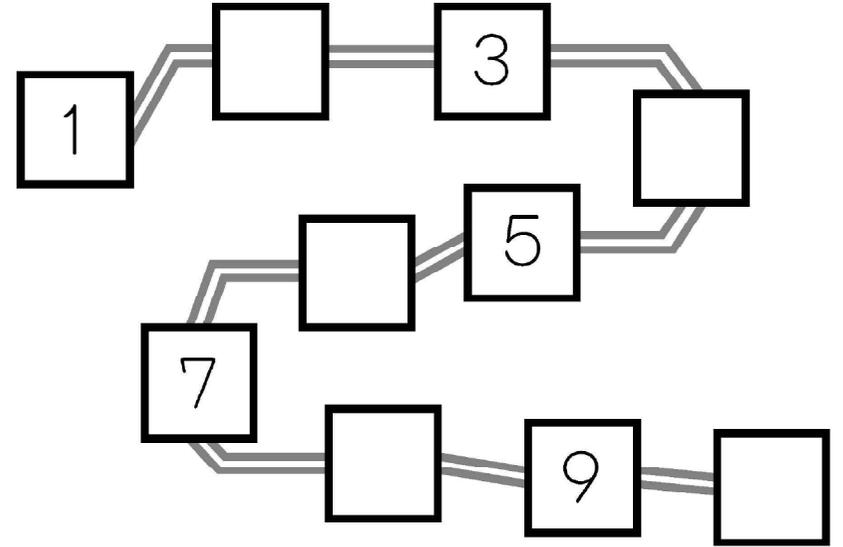
<h><h> 6-39 なまえ ()

1から 10まで じゅんに なるように、□に すうじを いれましょう。



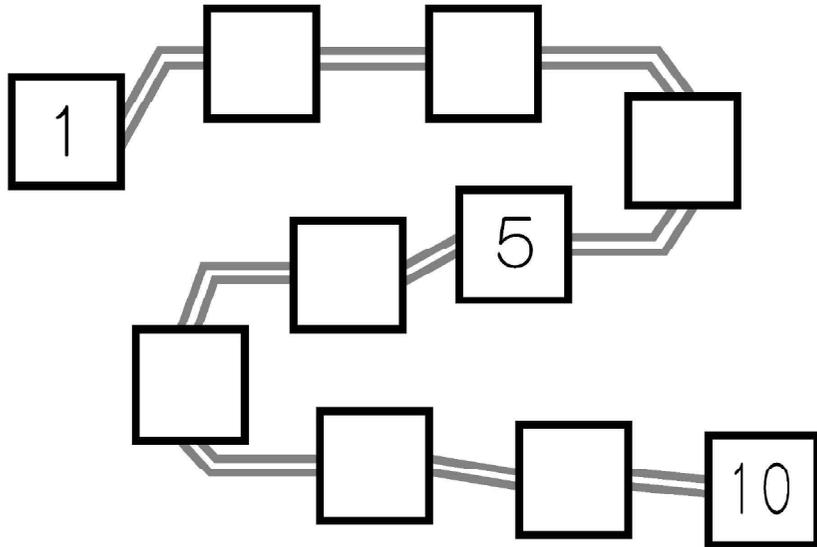
<h><h> 6-40 なまえ ()

1から 10まで じゅんに なるように、□に すうじを いれましょう。



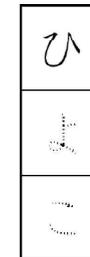
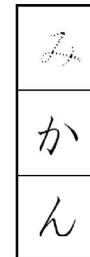
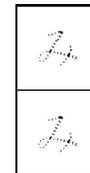
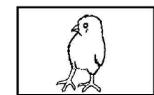
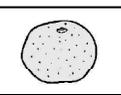
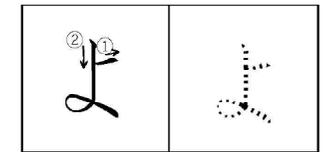
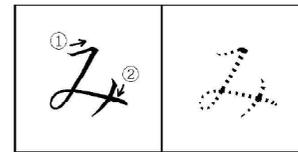
<h><h> 6-41 なまえ ()

1から 10まで じゅんに なるように、□に すうじを いれましょう。



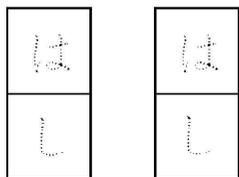
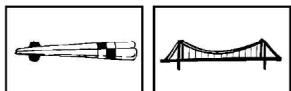
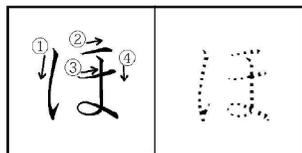
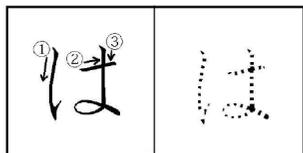
<h><h> 6-42 なまえ ()

……を なぞって もじを かきましよう。

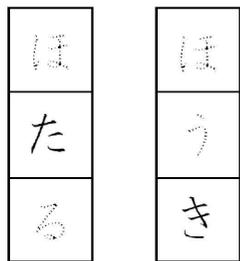


<h><h> 6-43 なまえ ()

……を なぞって もじを かきましょう。

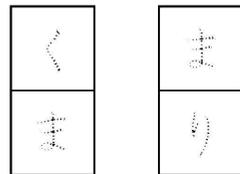
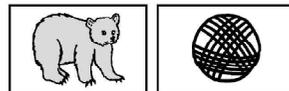
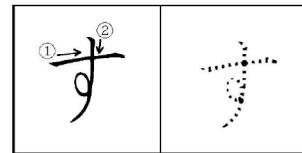
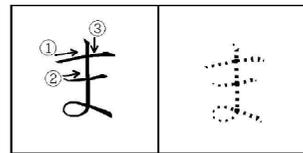


<h><h> 6-44 なまえ ()

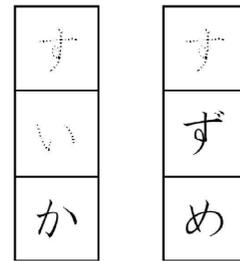
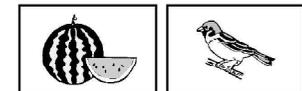


)

……を なぞって もじを かきましょう。



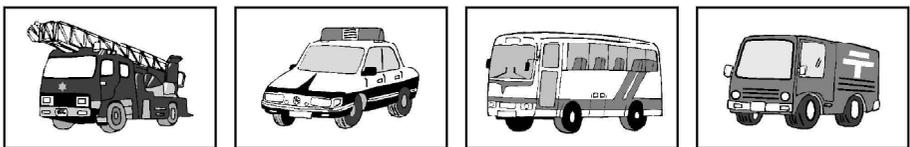
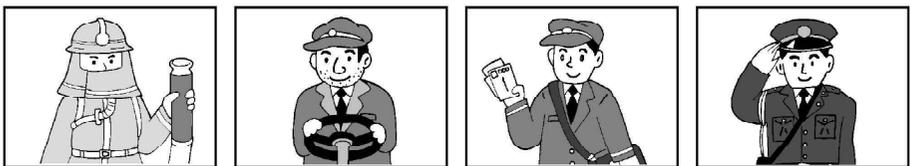
<h><h> 6-45 なまえ ()



)

あう ものを えらんで、うえと したを せんで おすびましょう。

ゆうびんやさん おまわりさん しょうぼうしさん うんてんしゅさん

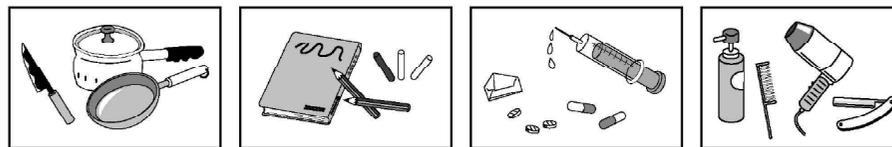
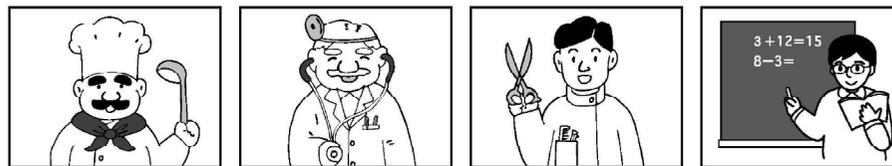


<h><h> 6-46 なまえ ()

)

あう ものを えらんで、うえと したを せんで おすびましょう。

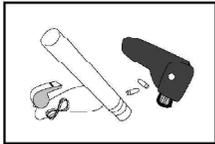
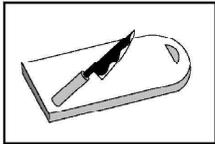
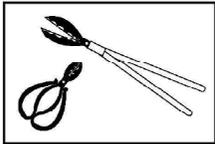
おいしやさん せんせい コックさん とこやさん



<h><h> 6-47 なまえ ()

)

あうものをえらんで、うえとしたをせんでおすびましょう。

うえきやさん	さかなやさん	おいしゃさん	おまわりさん
			
			

くんくん 6-48 なまえ ()

かず・りょう／積み木の数

●教具を使って同じ形を作り、積み木の数を数える

まず、実際につみきやブロックを使って、お子さんに問題と同じ形を作らせて下さい。できた形から、1つずつ積み木を取り出して数を数えます。積み木の数は、たてに何個積んであるかを考えながら数えさせて下さい。積み木の数が数えられたら、その数字に○をつけます。

●積み木の絵に印(∧)をつけながら数を数える

プリントの積み木の絵の上面に印(∧)をつけながら数える練習をしましょう。実際につみきやブロックを使って問題と同じ形を作り、たてに何個積んであるか積み木の数を数えながら、プリントの積み木の絵の上面にその数だけ印(∧)を書きます。積み木が2個積んであるところには印を2つ(∧∧)、1個だけのところは印を1つ(∧)書きます。まず指導者がお手本を見せてあげて下さい。この印の数を全部数えると、積み木の数がわかります。

くんくん 6-4、6-5、6-6

ことば／拗音(きゃ、きゅ、きょ)(しゃ、しゅ、しよ)(ちゃ、ちゅ、ちよ)

●小さく書く字(拗音)を含んだことば

「きゃ」「きゅ」「きょ」「しゃ」「しゅ」「しよ」「ちゃ」「ちゅ」「ちよ」の「ゃ」「ゅ」「ょ」は小さくかくことに注意させましょう。また、「きって」などの「っ」も小さく書く字であることを教えてあげて下さい。

上の段のことばは、指導者が一つずつ読んであげて、お子さんに復唱させてからあう絵と結びましょう。「きゅうり」の「う」などのばす音の読み方にも注意させて下さい。

●小さく書く字を見つける文字遊び

拗音を含んだ言葉を考えて、小さく書く字もわざと大きな字で書きます。(「きゅうり」「しやしん」など)

お子さんに言葉をそのまま読ませて、どの字を小さく書けばよいか、考えさせましょう。文字に対する関心を楽しく高める遊びです。

くんくん 6-1、6-2、6-3

かず・りょう／数字の書き

●数字をなぞる

鉛筆を正しく持って、点線をなぞりながら数字を書きます。書き順にも気をつけて、力を入れて、ていねいに書きましょう。「10」は左側の「1」から先に書くことに注意させて下さい。1から10まで、10から1まで順番に数字をなぞりながら、数字の並び(数列)もしっかり覚えましょう。

●あいているところにあう数字を書く(6-8、6-9)

あいているところにはどんな数字が答えさせてから、数字を書き入れましょう。最初から整った数字が書けなくてもかまいません。お子さんが数字を書き終わったら、「一人で数字がかけたね」とほめてあげて下さい。

また、「2、4、6、8、10・・・」や「1、3、5、7、9・・・」のように2とびで数を数える練習もやっておきましょう。

くんくん 6-7、6-8、6-9

ずけい／欠所補完

●あいているところにあう絵をさがす

欠けている部分を想像で補いながら、全体はどんな絵なのかをまず考えさせます。そして、そのどの部分が欠けているかを考えれば、答えを選ぶのが楽になります。よく似たものがあれば、それぞれについて、あわせるとどんな絵になるか、考えさせて、ちょうどあう方を選びましょう。(例: 6-10の左 パンダの絵の後ろ足が欠けている→左上、右上の2つにしばらくる →左上を答えとして選ぶ)

お子さんが問題の意味をわかりにくいようでしたら、(または答えあわせをかねて)、プリントを切りとって実際に絵をあわせてみるとよいでしょう。

●右脳の働きを活発にするパズル遊び

図形の問題ができるかどうかは、実際にパズルや積み木、ブロックなどでどれだけ形遊びをしたかによって決まります。図形パズル(ジグソーパズルやピクチャーパズル)などで遊ぶ機会をたくさん作ってあげてください。手先を使ってパズルを組み合わせていく遊びは、右脳の働きを活発にし、集中力、直感力、観察力を養うのに効果があります。

くんくん 6-10、6-11、6-12

かず・りょう／たし算(復習)、積み木の数

●たし算の復習(6-17、6-18)

左と右の絵の数を「あわせる」という形の、たし算の復習(答えが5以下のもの)です。まず、左側と右側の絵の数をお子さんに数えさせて、それから「左のいちご1つと、右のいちご6つとをあわせるといくつかな?」というように聞いてあげてください。左と右をあわせた数がいくつになるかは左から絵の数を数えて、その続きで右の絵の数を数えると、わかります。

●積み木の絵に印(△)をつけながら数を数える(6-16)

プリントの積み木の絵の上面に印(△)をつけながら数を数える練習をしましょう。実際に積み木やブロックを使って問題と同じ形を作り、たてに何個積んであるか積み木の数を数えながら、プリントの積み木の絵の上面にその数だけ印(△)を書きます。積み木が2個積んであるところには印を2つ(△△)1個だけのところは印を1つ(△)書きます。まず指導者がお手本を見せてあげてください。この印の数を全部数えると積み木の数がわかります。

くんくん 6-16、6-17、6-18

ことば／拗音(にゃ〜ひょ)(みゃ〜りょ)(ぎゃ〜びょ)

●小さく書く字を見つける文字遊び

拗音を含んだ言葉を考えて、小さく書く字もわざと大きな字で書いておきます。

(「こんにやく」「りゅう」など)

お子さんに言葉をそのまま読ませて、どの字を小さく書けばよいか、考えさせましょう。文字に対する関心を楽しく高める遊びです。

●小さく書く字(拗音)を含んだことば

「にゃ」「にゅ」「にょ」などの「ゃ」「ゅ」「ょ」は小さくかくことに注意させましょう。上の段のことばは、指導者が一つずつ読んであげて、お子さんに復唱させてからあう絵と結びましょう。

●拗音(ぎゃ〜びょ)(6-15)

左から順番に「ぎゃ」「ぎゅ」「ぎょ」・・・「びゃ」「びゅ」「びょ」と読んで復唱させましょう。「ぎゃ」「ぎゅ」「ぎょ」は「きゃ」「きゅ」「きょ」にそれぞれ「ゝ」がついたもので(以下同様)であることを教えてあげてください。

くんくん 6-13、6-14、6-15

ことば／ひらがなの書き(ろ、る)(う、ら)(け、ち)

●ひらがなのなぞり書き

ひらがなの書きを、画数の少ないやさしいものから順に学習します。「ひらがなの書き」の指導においては、「とめ」や「はね」などの細かい部分はとりあげなくてもかまいません。ひらがなの字形を大づかみに覚えさせることが大切です。横・縦の線、丸くなる線、短い線、長い線など字形の特徴を覚えて、正しい書き順でゆっくりとていねいに書くよう、指導して下さい。

指導者がお手本を書いて見せてから、テキストの点線文字をなぞり書きさせましょう。

●形の似ている字に注意する

「ろ」と「る」、「う」と「ら」は形が似ているので、注意して覚えましょう。

●絵を見ながら、ひらがなのことばを読む

一週り書き終わったら、絵を見ながらひらがなのことばを読んで、復唱させておきましょう。「」のつく文字の読み方にも注意して下さい。

くんくん 6-19、6-20、6-21

ずけい／位置

●マス目での位置①「上(下)から～段目で左(右)から～番目」

「上下」と「左右」を組み合わせて位置を示す方法をしっかり理解しておきましょう。「上(下)から～段目」にあるものをすべて答えさせ、その並びの中から次の「左(右)から～番目」にあうものを選ばせる、というように順を追って答えさせて下さい。この問題以外にもマス目を使って、いろいろ練習してみるとよいでしょう。

●マス目での位置②「～から～つ上(下、左、右)」

マス目での位置で、別のパターンの問題も練習しておきましょう。マス目の中のものに基づいて、そこからいくつか上(下、左、右)の位置を答えさせます。この場合は、基準となるもの自体は数えず、その次から「1、2」と順番を数えることに注意させましょう。

問題例：6-22 「バスは上から何段目で左から何番目にありますか。」(3、3)
「バスから2つ上のものは何ですか。」(トラック)

<u>く</u><u>く</u> 6-22、6-23、6-24

かず・りょう／たし算(たす6、たす7、たす8、たす9)

●教具を使ったたし算の練習

つみきを使って、たし算を練習しましょう。たし算の練習はつみきを使って
色の違うつみきを数個用意して、色別に左と右に分けて並べます。(たす6の場合は、右側に6個おきます)。左と右のつみきの数をそれぞれ数えてから、一緒にして一列に並べてあわせた数を数えてみましょう。

●左と右の絵の数をあわせるたし算

ここでは、左と右の絵の数を「あわせる」という形で、たし算を学習します。まず、左側の絵の数を数え、その数だけ□に○をかきます。それから、右側の絵の数を数え、そのつぎの□に○をかきましょう。○の数を数えると、あわせた数になっています。()には、数字でその数を書きましょう。

答えあわせが終わったら、「1と6で7になったね」と確認しておいて下さい。

<u>く</u><u>く</u> 6-28、6-29、6-30

ことば／ひらがなの表(濁音・拗音)、同尾語

●ひらがなの濁音・拗音表(6-25)

「ん」や「ゃ」「ゅ」「ょ」のある字を集めています。この表も50音表といっしょに目につきやすいところにはっておいて、日頃から繰り返し読む練習をするとよいでしょう。

リズムをつけて、楽しく練習しましょう。

●同尾語(6-26、6-27)

一つずつ、名前と最後の音をお子さんと一緒に確認しながら、○をつけていくとよいでしょう。

6-26 (左上から) さい／たい、ねこ、ほうき／そうじき・うちわ、とら／ちゃん・さら、いす／すいせん・りす、つくえ／えんぴつ・ふえ、ライオン／ペンギン・ぞう

6-27 (左上から) すいか／かめ・いか、やかん／にんじん・なす、とけい／とまと・かい、いす／りす・いちご、たぬき／ひこうき・りす、たこ／たいこ・たまご

<u>く</u><u>く</u> 6-25、6-26、6-27

かず・りょう／数字の書き

●数字をなぞる(20まで)

鉛筆を正しく持って、点線をなぞりながら数字を書きます。書き順にも気をつけて、力を入れて、ていねいに書きましょう。「10」以上の2ケタの数字は、十の位の数字から先に書きましょう。1から20まで、20から1まで順番に数字をなぞりながら、数字の並び(数列)もしっかり覚えましょう。

●あいているところにあう数字を書く

あいているところにはどんな数字が答えさせてから、数字を書き入れましょう。最初から整った数字が書けなくてもかまいません。お子さんが数字を書き終わったら、「一人で数字がかけたね」とほめてあげて下さい。

また、「2、4、6、8、10、12、14、16、18、20、」や「1、3、5、7、9、11、13、15、17、19、」のように2とびで数を数える練習もやっておきましょう。

<u>く</u><u>く</u> 6-31、6-32、6-33

ずけい／回転図形

●積み木を倒してどんな形になるか考える

回転図形の問題に入る前に、形を回転させる遊びをいろいろやってみましょう。最初は、箱や積み木をたてたものを横に倒すとどんな形になるか、考えながら確かめてみましょう。また、いろいろな形を向きをかえながらグルグルまわして、どんな形ができるかよく見てみましょう。

●形を同じように回転させる

実際に紙に形をかいて問題のように回して説明してあげるとよいでしょう。右の絵は、左の絵の上に重ねて回してみるとよくわかります。

く<く< 6-34、6-35、6-36

かず・りょう／数列（10まで）

●順番に数を言う「数唱ゲーム」

数列を楽しく覚える「数唱ゲーム」をやってみましょう。2人か3人ふたりで順番に、数を言っていきます。最初は1から順番に、1人が1ずつ数を言います。慣れてきたら、20から逆に言うとか、1人2つずつ数を言うとか、数を言いながら手を上げるとかのバリエーションを工夫すると楽しいゲームになります。

●あいているところにあう数字を書く

あいているところにあう数字を書き入れましょう。答えを書き終わったら、うまく数字が続いているか、数字を読んで確かめておくよう、指導して下さい。

く<く< 6-40、6-41、6-42

ことば／同尾語

●ことばの名前と一番おわりの音を確認して、同尾語を見つける

一つずつ、名前と最後の音をお子さんと一緒に確認しながら、○をつけていくとよいでしょう。最後までしっかりできたら、「よくできたね」とほめてあげてください。

また、先にことばを一つ言って、おわりの音がそれと同じものを言わせる「同尾語ゲーム」も、お子さんと一緒にやってみてください。

（例：「さい」（たい）、「やかん」（ライオン）・・・）

6-37（左上から）せんぼうき／たぬき・きつね、くつした／ぶた・てぶくろ、おたまじやく／うし・しまうま、ゆり／ひまわり・りんご、だいこん／きりん・らくだ、すずめ／めだか・かめ

6-38（左上から）へび／かえる・えび、りんご／だんご・りす、さくら／さる・くじら、ねずみ／みかん・せみ、あり／ちりとり・りんご、しか／めだか・うし

6-39（左上から）つばめ／すずめ・わし、あじさい／さい・いのしし、かまさり／かめ・くり、かえる／かに・さる、はし／うし・しか、わに／かば・かに

く<く< 6-37、6-38、6-39

ことば／ひらがなの書き（み、よ）（は、ほ）（ま、す）

●ひらがなのなぞり書き

ひらがなの書きを、画数の少ないやさしいものから順に学習します。「ひらがなの書き」の指導においては、「とめ」や「はね」などの細かい部分はとりあげなくてもかまいません。ひらがなの字形を大づかみに覚えさせることが大切です。横・縦の線、丸くなる線、短い線、長い線など字形の特徴を覚えて、正しい書き順でゆっくりとていねいに書くよう、指導して下さい。

指導者がお手本を書いて見せてから、テキストの点線文字をなぞり書きさせましょう。

●形の似ている字に注意する

「は」と「ほ」、「ほ」と「ま」、「ま」と「よ」は形が似ているので、注意して覚えましょう。

●絵を見ながら、ひらがなのことばを読む

「」のつく文字やのばす音（「ほうき」の「う」など）読み方にも注意して下さい。

く<く< 6-43、6-44、6-45

●職業の名前・仕事の内容・関係のあるものを理解させる

私たちの身のまわりで、どんな人がどんな仕事をしているのか、仕事をするにはどんな道具が必要であるかを学習します。

上の段のひらがなを一通り読んでから、「～する人はどれ」とお子さんに質問しながら、下の絵と線で結び合わせて下さい。この他にも、どんな仕事があるか、お子さんと一緒に話し合ってみるとよいでしょう。

	仕事の内容	用具
おまわりさん	悪い人を捕まえる人	バトカー、ピストル、こんぼう
ゆうびん屋さん	手紙や荷物を届ける人	郵便車
しょうぼうしさん	火事を消す人	消防車
うんでんしゅさん	バスや電車の運転をする人	バス、電車、タクシー
おいしゃさん	病気やけがを治す人	注射、聴診器、薬
せんせい	学校で勉強を教える人	チョーク、えんぴつ、教科書
コックさん	料理をする人	ほうちょう、なべ、フライパン
とこやさん	散髪をする人	くし、ドライヤー、はさみ
うえき屋さん	植木を整える人	うえきばさみ
さかな屋さん	魚を売る人	まないた、ほうちょう

くんく 6-46、6-47、6-48

ぐんぐん 6号

企画・著作 松本敏史

(教育デザイン研究所)

大阪府南河内郡千早赤坂村小吹68-115

0721-70-2050

改訂版制作日 2015年11月20日

本書の無断複写・複製・転載を禁じます。